

# 給食だより

令和6年11月

佐呂間町学校給食センター  
Tel. 5-2555

みのあきです。みなさんは、地域で生産したものを地域で消費するという意味を持つ「地産地消」という言葉を知っていますか？地産地消は、安心安全で新鮮な食べものが食べられるだけでなく、食料自給率の向上にもつながります。給食も地産地消を意識してメニューを考えています。こんだてひょうでもお知らせしていますので、お家でも是非、話題にしてみてくださいね。



## 地産地消の良さとは？

新鮮な旬の味覚を味わうことができる

作っている人の顔がわかり、安心感が得られる

地域内で資金が還元され、地域経済の活性化につながる

農業が活性化することで農地が保全され、景観の維持や洪水の防止につながる

運ぶ距離が短くなり、エネルギーやCO2排出量が削減でき、環境に優しい

ESD（エスディー）SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献できる

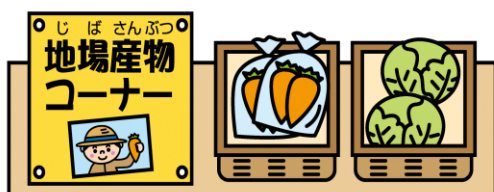
## 学校給食に地場産物を活用する効果

地域の産業や食文化への理解を深めることができる

食料の生産、流通に関わる人びとに対する感謝の気持ちを育むことができる

学校と地域との連携・協力関係を構築することができる

## 食品を選ぶ際は、産地や生産者を意識してみませんか？



直売所や道の駅、スーパーマーケットの地場産物コーナーなどを活用しましょう。地場産物のほか、自分が応援したい地域や被災地の産品を選ぶことは、その産地の生産者を応援することにつながります。

★裏面には「秋の食べもの・ことわざクイズ」があります。挑戦してみてくださいね！

# あき た 秋の食べもの

# ことわざクイズ

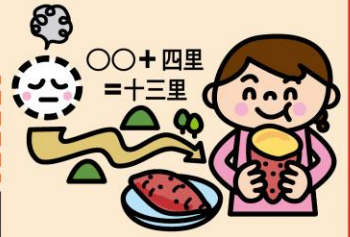


○に秋の食べものを書いて、ことわざを完成させよう！  
 下の絵と○の数、[ ]がヒントです。

**Q1**

○○よりうまい十三里

十三里は「さつまいも」を指し、○○よりもあまくておいしい、という意味。  
 「○○+より(四里)=十三里」と足し算になっている。  
 ※一里は昔の距離の単位で、約4キロメートルのこと。



**Q2**

貧乏○○○に福いわし

○○○が豊漁の年は寒流が強くて夏の気温が低く、米が不作(貧乏)になり、  
 いわしが豊漁の年は暖流が強くて夏は暑く、米が豊作であることを意味する。



**Q3**

○○の煮えたもご存じない

○○が煮えたかどうか分からない、世間知らずの人のことを言うたとえ。



**Q4**

秋○○は嫁に食わすな

秋の○○はおいしいから嫁に食べさせたくないという意味と、○○は傷み  
 やすいから嫁には食べさせないと心配する、2通りの意味がある。



**Q5**

となり隣の○○○と遠くの夕立来そうで来ない

となりの家の人が作る○○○が口に入らないように、雨が降ってほしいのに遠く  
 の夕立(雨)はなかなか降らないことを意味する。



## ヒント



〇1=<り(栗) 〇2=さんま(秋刀魚) 〇3=いも(芋) 〇4=さば(鯖) 〇5=おはぎ  
 ※「秋なすは嫁に食わすな」ということわざもあり、似たような意味がある。

こたえ